

みさき

70号



議会HPへアクセスします

美咲町議会だより

2022年11月10日発行



- 主な内容
- 令和3年度決算審査……………②～⑤
 - こんなことが決まりました……………⑥～⑦
 - 8議員が町政を問う……………⑬～⑰

表紙関連記事23ページ

大きく育て美咲の子ども 未来を見つめはじける笑顔
美咲町HPアドレス <https://www.town.misaki.okayama.jp>

令和3年度
決算認定

68

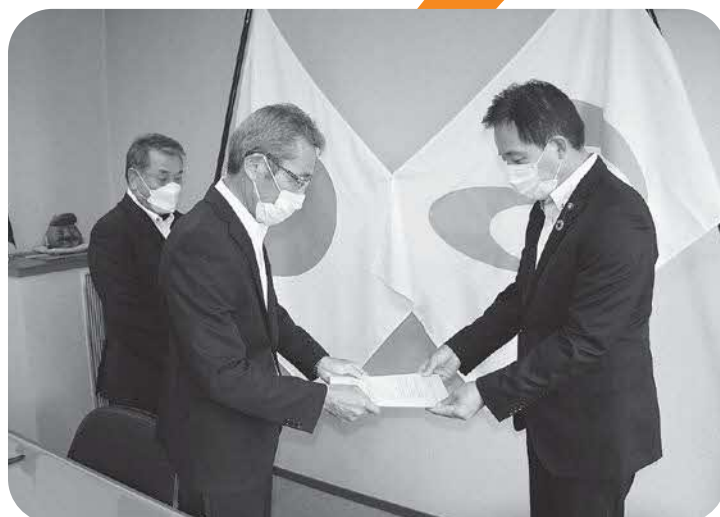
項目の意見を付して

全会一致で承認



各委員が決算や事業内容をチェック

3日間にわたり決算認定特別委員会を開催し、令和3年度決算について各委員からの意見を集約。



決算認定特別委員会の報告書を
松島議長へ提出

決算審査において、各委員から出された指摘事項68項目をまとめた報告書を左居委員長、矢吹副委員長から松島議長へ提出。



議会からの要望書を青野町長へ提出

決算認定特別委員会からの報告書を基にまとめた議会からの要望書を松島議長、左居副議長から青野町長へ提出。



決算認定特別委員会からの報告

決算認定特別委員会は、前年度で執行された予算が適正なものであったかを確認するため、全ての課が所管する決算について審査を担当しています。

委員長／左居喜次 副委員長／矢吹一郎 ほかに全議員を委員とする14人で審査しています。

来年度に
向けて

全体総括意見を付す！

本会議での委員長報告において指摘した特に付しておくべき意見は以下の通りです。

意見

地方債借入状況の注視

地方債の借入に制限がかかることにならないよう実質公債費比率の状況を厳重に注視して抑制に努めなければならない。

意見

新型コロナへの対応

今後は日常的に感染者と接触するといった状況を踏まえた行動や対策と共に、コロナ禍での住民サービスの質的向上を望む。

意見

国際交流の見直し

相互利益につながる有用性を判断し、海外派遣交流事業の要綱の見直しを含め、今後の進むべき方向を定めることを望む。

意見

基金の見直し

基金の設置目的、相互関係を精査し、整理・統合を行い、さらに安全で効率的な管理および運用を求める。

意見

分譲団地の開発

分譲団地では、年齢層が固定化しやすい傾向がある。開発に当たっては、長期的な視点を持って、計画的な開発を望む。

意見

買い物支援の充実

各地域の状況調査を進め、高齢者の衣食住が困窮しないように、移動販売の拡充や買い物支援など施策の充実を求める。

意見

小規模多機能自治の推進

「ひと 輝くまち みさき」実現に向けて、組織横断的に全庁を挙げての取り組みと事業推進への働きかけを望む。

意見

公共施設等総合管理計画

総合管理計画が策定されているが、実態が伴っていない。地元の意見に耳を傾け方針を示したうえで、早期の実施を求める。

意見

職員の勤務態度と住民対応

住民に対し配慮に欠ける対応が見受けられる。公務員としての立場を自覚して自己研鑽と共に住民に寄り添った対応を求める。



● 9月定例会：前年度決算を審査・認定

● 議会からの指摘・意見をとりまとめ
● 来年度予算などへの要望書を提出

● 3月定例会：来年度予算案を審査

決算認定特別委員会では、決算状況や事業内容をチェックし、「来年度予算にどう反映させるか」という視点で審査を行いました。

決算審査 私の意見!

一般会計	137億8,233万円(前年度比10.7%増)
16特別会計	62億4,358万円(前年度比6.4%増)
公営企業会計	9億641万円(前年度比0.6%減)

【※決算額は1万円未満四捨五入】

全議員14人を委員とする令和3年度歳入歳出決算認定特別委員会が設置され、9月9日から3日間にわたり決算の審査を行いました。

今回の審査では、①議会が議決した予算が効果的・効率的に執行されているか②決算における評価を来年度予算編成や役場の運営にどのように反映させるのかという点を中心に審査を行いました。

ここでは各委員から出された68項目の指摘事項のうち主な意見を掲載します。

安心・安全

主な事業

公共施設管理、防災、国際交流、情報通信など

総務費

38億7,699万円

衛生費

11億3,907万円

藤井委員



特殊詐欺防止

被害者を出さないために、みさきネットなどを有効活用し、町民への周知を求める。

延原委員



お試し暮らし住宅の活用

お試し暮らし住宅について、移住希望者のニーズに合った取り組みを求める。

松田委員



遊休地の管理

町有地において、管理不足が見受けられる。魅力ある土地に見えるような管理を求める。

福祉・教育

主な事業

高齢者福祉、障がい者福祉、児童福祉、学校教育など

民生費

30億8,519万円

教育費

16億8,850万円

板垣委員



欠席の児童生徒への配慮

新型コロナの影響による欠席の児童生徒へ、授業の遅れが生じないように配慮を求める。

山本資委員



旭地域の医療確保

西川診療所の移転が予定されているが旭地域が無医地区とならない対応を求める。

山本宏委員



介護者の負担軽減

ヤングケアラー・ダブルケアについて、対象者の把握と共に負担軽減の対策を求める。

歳入・歳出決算認定を全会一致で承認しました。

監査委員の指摘

◆公共施設の見直し

各部署において公共施設の見直しが進んでいない。美咲町公共施設適正配置計画に基づく公共施設個別施設計画の早期策定、実施を求める。

◆予算の効率的な執行

不用額処理について、職員一人ひとりが厳しい財政状況であることを自覚し、引き続き計画的かつ的確な予算執行を求める。

◆金庫の適正な管理

金庫内に現金を長期間保管している事例が確認された。金庫内の点検を定期的実施するなど適切な管理を徹底すること。

◆基金の見直し

基金の設置目的を再度確認し、目的を達成した基金があれば整理・統合を行うこと。さらに効率的な基金運用を求める。

◆公用車管理

職員数や公用車の使用頻度から判断して余剰配置と言わざるを得ない。再度、使用状況を確認し、全庁的に公用車の適正配置に努められたい。

◆定期刊行物の購読見直し

定期刊行物の購入目的が、社会一般的な常識として適当であるか、また部数は適切であるか検討し、部署間で調整をはかり見直しを行うこと。

特別会計・公営企業会計

主な事業

みさきネット、国民健康保険、介護保険、上・下水道など

特別会計事業

62億4,358万円

公営企業会計事業

9億641万円

小林委員



指定管理の
管理方法の
統一

同様の施設において管理の方法が統一されていない。経費を抑える方向で統一を求める。

則吉委員



公営企業会計の
住民負担

公営企業会計について、料金値上げなど住民に新たな負担が生じないように求める。

形井委員



老朽化した
町有住宅への
対応

早急に住み替え手続きをお願いし、解体撤去を含め、公有地の有効活用を求める。

産業・建設

主な事業

農林業振興、道路整備、観光、災害復旧、企業誘致など

農林水産業費

8億5,720万円

土木費

11億3,517万円

三船委員



水路の埋没への
指導

埋め立てにより水路が埋没した状態が見受けられる。水路の確認および指導を求める。

松島委員



通学路の
安全確保

冬季において通学路の凍結が懸念される。適切なタイミングで融雪剤の散布を求める。

中西委員



有害鳥獣の
駆除

現在補助金対象となっていない有害鳥獣においても、補助金対象への拡大を求める。

以上のような審議を経て、美咲町議会は令和3年度

請願・要望

医療・介護・保育・福祉などの職場で働くすべての労働者の大幅賃上げを求める
請願書

岡山県医療労働連合会

執行委員長 西崎 克江

医療・福祉などに限定しての賃上げには疑問を感じるところが有り賛成多数で趣旨採択とした。

精神保健医療福祉の改善に関する請願書

岡山県医療労働連合会

執行委員長 西崎 克江

その時々状況に応じた対応も考慮しなければならぬという観点から賛成少数で不採択とした。

燃料価格高騰にともなう燃料コストの補填に関する要望書

岡山県トラック協会 美作支部

支部長 安東 忠徳

価格高騰による悪影響はすべての職種に及んでいることから全会一致で趣旨採択とした。

ワクチン接種体制を強化

一般会計補正予算8億86万円など37件の議案が議決されました。

生活応援商品券を配付

諸物価高騰に対応するため、久米郡商工会商品券1人4,000円分を配付する。
〔生活応援事業費 5,840万円〕



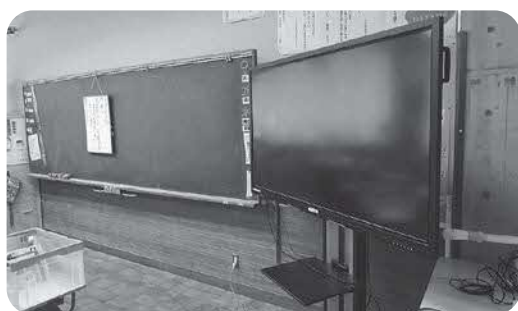
非課税世帯に5万円を支給

国の政策により住民税非課税世帯に対して5万円の給付金を支給する。
〔社会福祉総務費 1億1,614万円〕



小・中学校に電子黒板を配置

小・中学生の学習活動を支援するため電子黒板を9台購入して小・中学校に配置する。
〔小・中学校管理費 443万円〕



下水道処理場の設備更新

農業集落排水吉岡処理場の故障通報装置が老朽化したため設備を更新する。
〔下水道費 600万円〕



9月議会

でこんなことが
決まりました

コロナとの共存に向けて

令和4年8月31日～9月16日に定例会、10月18日に臨時議会が招集され

建設残土処理場を整備

建設工事に伴い搬出される残土を処理するための施設を整備する。

〔土木総務費 1,870万円〕



ワクチン接種体制を確保

新型コロナウイルス感染症を予防するためのワクチン接種体制を確保する。

〔予防費 1億1,936万円〕



意見の分かれた議案

○は賛成 ×は反対 (議長は裁決に加わりません)		松島議員	左居議員	山本宏議員	松田議員	延原議員	形井議員	小林議員	藤井議員	山本資議員	板垣議員	三船議員	矢吹議員	則吉議員	中西議員
請願第1号	医療・介護・保育・福祉などの職場で働くすべての労働者の大幅賃上げを求める請願書 (委員会の審査結果は趣旨採択)	議長	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
討 論		この請願は趣旨採択でなく採択して国に意見書を送付するべきだ											藤井議員		
請願第2号	精神保健医療福祉の改善に関する請願書 (委員会の審査結果は不採択)	議長	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×
討 論		この請願は不採択でなく採択して国に意見書を送付するべきだ											藤井議員		

契 約

◎各種契約について提案があり、審議の結果全会一致で承認した。

【工事請負】

◇多世代交流拠点整備事業

設計・施工

ライフデザイン・カバヤ(株)

(岡山市)

(株)丹羽建築設計事務所(岡山市)

共同企業体

18億400万円(税込)

人 事

人権擁護委員の選任に同意

人権擁護委員の選任が提案され、全会一致で同意した。任期は令和7年12月31日までの3年間。



美咲町 原田 池上 佳苗(再任)



美咲町 錦織 杉本 八重美(新任)



美咲町 藤田上 山下 一巳(新任)

委員会 の活動

委員長報告



総務・産業常任委員会からの報告

総務・産業常任委員会は、総務課、理財課、地域みらい課、くらし安全課、上下水道課、建設課、産業観光課が所管する予算その他の案件について審査を担当しています。

委員長／山本宏治 副委員長／延原正憲 委員／中西伶王、矢吹一郎、山本 資、松田英二、松島 啓の7人で審査しています。

【総務課】

育児休業等に関する条例

問 職員の育児休業の改正は正規職員に限られるのか。

答 正規職員同様に、会計年度任用職員にも、休業取得回数・申請期限を緩和する。

【理財課】

ふるさと納税の予算

問 前年の納税額を参考に、当初予算で対応出来るのでは。

答 返礼品が天候に影響される作物なので、随時更新を行う。今回2,500万円計上。

【地域みらい課】

空き家撤去の補助金

問 空き家撤去の補助金支給基準と対象家屋は。

答 補助金対象は、老朽危険空き家であり、解体事業費の1/2で、150万円が上限である。



(津山市林田地内)

津山圏域消防本部・旭、柵原出張所を視察。

司令センターでは、津山・美作・真庭の共同運用、携帯電話の端末情報による現場確認などのICTを活用した取り組みの説明を受けた。

【くらし安全課】 防火水槽を新設

問 今回、経費の高い現場打ち工法を行う理由は。

答 要望場所の町道が狭く、二次製品の搬入ができないため、現場打ち工法を行う。

【建設課】 残土処理場を整備

問 公共の残土処理料の支払いは誰が行うのか。

答 請負契約の中に、組み込み処理している。他からの持ち込みも有償である。

【産業観光課】 農業分野のDX化

問 タブレット3台導入の使用目的は。

答 現地調査などの情報収集の際に使用し農地集積・集約に利用する。

あらぎじま 視察研修報告 ▶ ぶどう山椒の栽培と蘭島の環境保全で地域作り・和歌山県有田川町



行政マンの熱意に圧倒されました

ミカンで有名な有田川町は、紀伊半島の北西部、和歌山県のほぼ中央部に位置し、豊かな自然に恵まれ町の中央部を、高野山を源流とする有田川が、西に蛇行しながら有田川流域を形成している。幾多の歴史文化と伝統に彩られた農林業が自慢の町である。

平成18年1月合併により（人口約3万人、面積351,770㎢）県下で一番大きな町として有田川町が誕生した。（現在人口は25,705人）

【ぶどう山椒】

収穫量日本一を誇る特産『ぶどう山椒』の栽培により、高齢化が進む山間地にあつて地元住民との連携により新たな取り組みで仕事・地域作りの実績を残している。

●町が目指す産地の在り方と課題
住民主導で、産地の継続的發展を目指す
・次世代プレイヤーの獲得
・栽培研究（効率化・高収益化）
・ぶどう山椒のプロモーション

1 ション

●その他の取り組み

・栽培研究・幼木育成、接木技術
・苗木配布・育成状況確認
・農家へのフィードバック・報告、勉強

●世界で活躍するトップシェフと高校生とのイベント開催
●各種メディア発信
●食材提供・料理教室

●蘭島景観保全
国選定重要文化的景観を有する『蘭島および三田・清水の農山村』の保全の取り組みや資源としての保護体制を構築するため『文化的景観保護制度』を活用した事業を実施しているなど、美咲町の課題に類似した有田川町を視察先に選定した。

●町の支援体制
文化的景観の保護制度を活用した事業を実施している。
・文化的景観保護事業（文化庁）
H26（R3（8カ年）事業費（約7,000万円・町負担約2,500万円）

●有田川町景観形成支援事業補助金（年予算・100万円）
・中山間地域直接支払い制度交付金（R2年8月～5カ年430万円）
・三田ふるさとを守る会（年95,000円）
・蘭島への助成（年195,000円）

【参加者の感想】

●約2000年前に、庭先で発見され延々と受け継がれてきたぶどう山椒を1人の行政マン

が、粘り強く継続への強い思いで取り組まれた経過を聞き感動した。
●蘭島の形成過程、歴史について先人達の思いを受け継いで取り組んでいるその底辺には、地域を想う多くの人々の姿にあると思う。
●ぶどう山椒・蘭島共に、次世代への贈り物を何としても継ぎたいと頑張っている地域住民と行政、事業に携わっている人々の思いを感じた。

あらぎじま
すばらしい財産 蘭島の棚田

委員会 の活動



民生・教育常任委員会からの報告

民生・教育常任委員会は、住民税務課、保険年金課、健康推進課、徴収対策室、福祉事務所、教育総務課、生涯学習課が所管する予算その他の案件について審査を担当しています。

委員長／形井 圓 **副委員長**／小林達夫 **委員**／則吉洋介、三船博之、板垣正寿、藤井智江、左居喜次の7人で審査しています。

【住民税務課】 火葬場での事故防止

問 火葬場でのペースメーカーへの対応は。

答 爆発事故防止のため、現在受け入れをしていない。対応可能な斎場をお願いしている。

【保険年金課】 後期高齢者の窓口負担

問 後期高齢者の医療費窓口負担はどう変わるのか。

答 一定以上の所得がある人は、医療費の窓口負担割合が1割から2割に変わる。

【健康推進課】 ヤングケアラー調査

問 ヤングケアラーの調査はどのように行うのか。

答 業者選定をまず行い相談の上でその対象や内容などを検討する。



(吉ヶ原地内)

柵原斎場を視察した。
斎場内の各ホール、待合室などを見学した。
美咲町営火葬場との違いを確認し説明を受けた。

【健康推進課】 3歳児へ目の屈折検査

問 目の屈折検査の機械を導入する効果は。

答 会場で検査結果を得ることができ、精密検査の受診を即時に勧めることができる。

【教育総務課】 小・中学校に電子黒板

問 電子黒板の機能はどのようなものか。

答 先生と児童生徒がタブレットを使い、その画面の情報を共有することができる。

【生涯学習課】 中央町誌全4巻完成

問 ついに中央町誌全4巻が完成した。今後の方針は。

答 町の歴史を語る上での貴重な資料として、町民にも販売を進める。

視察研修報告▶自立支援や認知症カフェの先進的な取り組み・和歌山県かつらぎ町

〈かつらぎ町の状況〉

●かつらぎ町は和歌山県北東部に位置し、人口16,000人、高齢化率40%のまちである。歴史的には高野山と深い関わりがあり、平成16年に高野山参詣道と共に世界遺産に登録された。丹生都比売（にうつひめ）神社がある。

〈自立支援〉

●かつらぎ町の自立支援への取り組みについて研修。本人のできることや意欲、居場所を奪うのではなく、「住み



いつまでも元気に暮らすために

慣れたまちでいつまでも元気に暮らしたい」という考え方のもと、みんなで支えあえるまちを目指している。

●自立支援対策としての心構えは、

- ①介護予防策として本人のできることを支援
- ②重度化防止策として本当に支援が必要な人への適切なケア
- ③孤立化防止策として地域での見守りや声かけ

●ケアマネージャーのための出張型による事業所への研修を実施。

また、サロンなど、地域に出向いての住民への意識づけ、広報を行っている。介護サービスの正しい知識と理解が必要であり、介護サービスもおもてなしではなく、自立支援サービスとなることが重要である。

●「何でもやってくれてありがとう」ではなく、「これができるようになったよありがとう」を目標とするのがかつらぎ町の自立支援の取り組みである。

〈認知症カフェ〉

●かつらぎ町の認知症に対する取り組みについて研修。認知症カフェ「つれもてカフェ」について聴講。「つれもて」とは和歌山弁で「いっしょに」を意味し、認知症の人やその家族が、閉じこもらず気軽に参加できる社会参加の場所として開催している。認知症のあるなしに関わらず、高齢者から子どもまで誰でも

集い「認知症」というキーワードをもとに、地域の理解を深めることができる場所でもある。

●参加者は全体で約30人。6カ所のカフェで月5～6回開催。毎回8～15人が参加している。なかにはほぼすべての回に参加している人もいる。

●課題は6カ所すべてのカフェが平野部のみで行われているので、今後は山間部での取り組みを考える必要がある。

〈参加者の感想〉

●これからの介護には本人のできることを支援することに重きを置く自立支援の考え方が重要である。

●認知症の人やその家族が孤立化しないよう、気軽に参加できる居場所づくりや、まわりの人の理解が重要である。



できるようになったよ ありがとう

柵原学園新築工事契約案を賛成多数で可決

令和4年第8回議会臨時会が10月25日に開催され、工事請負契約議案1件が上程された。

審査に先立ち町長から、柵原地域に建設する義務教育学校柵原学園新築工事の契約を(株)安藤・間広島支店(本社：東京都)と28億4,900万円(税込み)で契約したい旨の報告が行われた。

[柵原学園新築工事契約に対する討論]

賛成!!



左居議員

この契約は企業の施工能力などを重視する総合評価落札方式による評価値で決定された結果であり、法令に基づいた適正な手続きにのっとって落札者が決まっている以上それを否定する事由は認められない。よって賛成すべきものとする。

討論

採決

反対!!



松田議員

今回の契約では9,200万円も高い金額を提示した企業が契約候補者となっている。総合評価方式の評価基準に対しての配点・行財政改革との整合性・コロナ禍における地方経済への波及効果など多くの疑問点に対して納得する事ができない。

採決の結果 契約案を賛成多数で可決

賛成11人	中西議員 則吉議員 矢吹議員 三船議員 板垣議員 山本資議員 藤井議員 形井議員 延原議員 山本宏議員 左居議員
反対2人	小林議員 松田議員

○議長は裁決に加われません。

交流

大阪府岬町との交流を活発化 ～災害相互応援協定の意見交換～

美咲町は、令和2年11月に大阪府岬町と友好交流都市協定および災害時相互応援協定を締結しています。議会では10月5日に岬町を訪問し、災害時相互応援協定に基づいた意見交換会を開催し、お互いの認識を共有することによって今後についても活発な交流が約束されました。



交流

美作大学との連携を強化 ～議会アンバサダーを募集～

美咲町議会は、令和4年1月に美作大学・美作大学短期大学部とSDGsパートナーシップ包括協定を締結しています。この程、さらなる連携強化に向けて学生の皆さんを対象とした「議会アンバサダー」(応援団)の募集ポスターを作成して大学構内に掲示してもらうことになりました。



町政を問う

一般質問は町民を代表し、

町長・教育長などに

町の方針や施策を問います。

ページ	議員名	質問内容
14	中西 伶王	1. 困窮する農家への支援策を 2. 美咲DMO今後の活動内容は ◇ 物価高騰による義務教育学校への影響は ◇ 若者定住支援への今後の町の方針は
15	板垣 正寿	1. プロジェクトの未来ビジョンは 2. 通学路危険箇所への対応を ◇ 棚田再生に美咲DMOはどう関わる
16	山本 宏治	1. 旭・柵原学園の今後の対応は 2. 大学と学校の連携ができないか
17	矢吹 一郎	1. 空き家の今後の対策は 2. 各種ワクチンについて問う

ページ	議員名	質問内容
18	藤井 智江	1. 義務教育学校の教育内容は 2. DMOの活用で人口減少克服を ◇ 町内の学校では問題は起きていないか ◇ 非核・平和宣言のまちへ
19	三船 博之	1. 災害に備えた建設業者の確保は 2. 大規模畜産業に独自施策は ◇ 各種計画の進行状況は
20	形井 圓	1. 町民目線の行政はできているか 2. 西幸・三保公民館の建て替えを ◇ 農業問題への取組は
21	山本 資	1. 義務教育学校の郷土学習の準備は

議会だよりには、2問まで掲載しています。
質問の状況については、
美咲町YouTubeチャンネルで
確認していただけます。

美咲町指定天然記念物 本山寺のカゴノキ(推定樹齢360年)



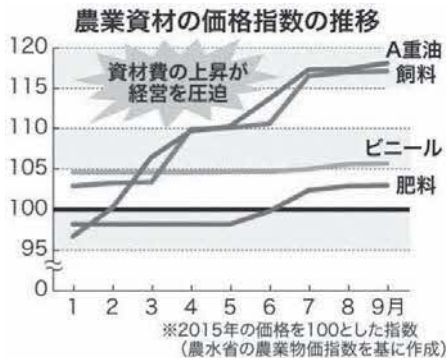
中西伶王(なかにし れお)議員

質問

困窮する農家への支援策を

答弁

国の交付金があれば活用を検討



問 社会情勢の変化に伴って農業肥料や農業資材さらに燃料などの価格が上昇し、多くの農家が困窮している。

本町の基幹産業である農業に対して町独自の支援策は考えられないか。

答 青野町長 現在の物価上昇は、燃料代の高騰や生活必需品の度重なる価格上昇など町民の生活にも深刻な影響を与えている。

こうした状況を踏まえて町独自の支援策として美咲町生活応援事業を実施している。

これは、久米郡商工会の商品券「かけはし」を全町民に1人6,000円分配布するもので、住民が生活していく一助になればと思っている。

物価高騰が本町の主要な産業である農業にも少なからず影響を与えていることは承知しているが、今のところ町として農業への直接支援策は実施できていない状況だ。

今後、国からの交付が期待されている地方創生臨時交付金の内示があれば、その利用にあたって最も有効な活用方法を検討していく。

質問

美咲DMO今後の活動内容は

答弁

課題解決や魅力発掘に取り組む

問 本年4月には美咲DMOの拠点施設となる「ミサキアエル」がオープンし、コーディネーターが活動を開始している。美咲DMOは今後どのような活動を進めて行こうとしているのか。

答 青野町長

美咲DMOは、ミサキアエルプロジェクトへ名称を変更し、観光振興だけでなく地域のさまざまな課題解決や魅力発掘を通じた力あるまちづくりを行い、交流などを通じて関係人口や移住者を増やす取り組みを行っていく。

答 林田産業観光課長

ミサキアエルプロジェクトの中核であるローカルベンチャーの募集を進めている。「山の仕事」「6次産業化」「里山保全」「自由提案」4つのプロジェクトで募集をおこなっており、今年度中に10人のローカルベンチャーを決定したい。

ローカルベンチャーは、それぞれの分野で活動している地域の人や企業と協働しながら事業を進めることで、将来的に自走できる形で地域課題解決を目指すことにしている。





板垣正寿(いたがき まさとし)議員



質問

答弁

プロジェクトの未来ビジョンは

「ひと輝くまちみさき」を実現する

問 3大プロジェクトである柵原、旭の義務教育学校と多世代交流拠点のソフト面について、その未来ビジョンを示されたい。

答 黒瀬教育長 学校という機能を活かし、地域の特色や人の輪を活かして町の未来像である「ひと輝くまちみさき」を実現する。

「学校を核とした地域づくり」のためにも学校運営協議会（コミュニティースクール）と地域学校協働活動の



これから始まる未来ビジョン

問 一体的推進が重要である。

答 青野町長 多世代交流拠点は、世代や分野を超えた交流や賑わいを生むことを目的としている。多くの住民の意見を反映し、多様なサービスを集約した複合施設としたことが大きな特徴である。

生涯費用については、ライフサイクルコストを考慮し、建設から解体までの全体の費用が抑えられるような拠点とし、未来の負担をできるだけ軽減できるように十分に配慮している。

問 子どもたちの安全を守るためにも通学路危険箇所への要望に対する迅速かつ的確な対応を求める。

答 結石教育総務課長 通学路危険箇所

また、今後建設される義務教育学校においても、通学路の問題については保護者も心配されているが十分な説明はできているか。

みさきテレビなどの各種町内メディアを通じて危険箇所の啓発を広く発信してはどうか。

また、柵原学園の通学路については、現在

質問

通学路危険箇所への対応を

答弁

児童生徒の安全のために

迅速に対応する



ここを子どもたちが歩きます

開校準備委員会の通学部会で協議を行っていく。

想定される通学路において改修が必要な箇所は、美咲町通学路交通安全プログラムで検討する。

答 浦上くらし安全課長 交差点など道路の危険箇所の点検風景については、過去にも放送をしている。今後取材の依頼などがあればできる限り対応する。

質問

旭・柵原学園の今後の対応は

答弁

両学園も特色ある学園にしてい



山本宏治(やまもと こうじ)議員



特色のある教育を目指す

問

旭学園・柵原学園は開校に向け改修・増築工事や造成工事が順調に進んでいる。

旭学園では「英語特区」を頑張っている。

「学校を核とした地域づくり」を進めるための施策はどのように考えているのか。

空き家を活用して移住定住に向けた取り組みができないか。

答

黒瀬教育長

他市町からの転校生受け入れについては十分に考えていきた

い。

旭学園では「英語特

区」柵原学園では「柵原ドリーム学」と特色ある教育を考えている。

文化・郷土学習を取り入れた9年間の学習計画である。

答

光嶋地域みらい課長

現在の空き家バンクを利用していただきたいが、システムも10年が経過しており大きく見直しを図ってきたい。

転校希望者に対するWEBサイトについては、子育て支援情報に特化したホームページを検討している。

質問

大学と学校の連携ができないか

答弁

キャリア教育に向けて連携を取る

問

美咲町議会は美作大学・美作大学短期大学部とパートナーシップ包括協定を結んでいる。

両学園また中央地域の学校と大学との連携で児童生徒に良い影響が出るものと思う。

今後の大学との連携は考えられないか。

また他の大学との連携はどうか。

答

山本教育次長

生活科、総合学習など9年間のキャリア教育に向けて大学と関わりを持っていきたい。大学関係、学校現場の要望を踏まえ具体的に考えていきたい。

問

他の大学とは岡山大学教育学部なども好意的でありカリキュラムの計画と照らし連携をしていきたい。

答

黒瀬教育長

今後は、ICTの時代でありタブレット、スマートフォンなど教育機器を利用した相互乗り入れ事業も考えている。

答

忠政副町長

本町としても、美作大学、津山高専と包括協定を結んでおり、小規模多機能自治の取り組みにフィールドワークとして協力をいただいている。



私たちも参加します



矢吹一郎(やぶき いちろう)議員

質問

空き家の今後の対策は

答弁

情報提供を行い啓発に努める



問 将来的に増加すると推測される空き家に対しての取り組みを示されたい。

答 ①本町において空き家対象件数は何件か。そのうち所有者、相続人と連絡可能な件数は。②特定空き家と認定された件数とその実態はどうか。③今後増加すると推測される空き家に対しての取り組みは。

答 ①現在把握している空き家件数は約1,000件で、そのうち約100件が連絡可能である。

②特定空き家認定数は現在では0件で、老朽危険家屋2件について相続人と協議中である。

答 青野町長 ③法改正により今後、空き家の管理が厳格化される。空き家や土地管理者、相続人、空き家の現況などの情報を一元管理するデータベースをGISの活用により構築し、空き家の所有者、相続人に対して総合的な情報提供を行い空き家対策の啓発に努めた。



有効活用できないかな～

質問

各種ワクチンについて問う

答弁

厚労省の決定を受けて対応する

問 新型オミクロン株が派生を繰り返して、感染が拡大している現況下において、現在4回目のワクチン接種が実施されているが、新たにオミクロン株対応の新型ワクチンの接種の報道がある。これらの接種計画はどうなっているのか。

また、コロナ禍にあつてそのストレスから高齢者の带状疱疹が増えている。

80歳までに、3人に1人は発症するとされる疾病である。

50才から接種可能となつている带状疱疹ワクチンについて接種の啓発と接種に対しての公費助成の考えはないか。

答 平健康推進課長 改良型新ワクチンの対象者は、1、2回目のワクチンを接種した人全員で、3回目まで接種済みの人も対象となる。接種間隔については、まだ示されていない。

带状疱疹ワクチンに

については带状疱疹後神経痛と呼ばれる後遺症が残ることもあり、現在、厚生労働省において公費負担による予防接種法に基づく定期接種化に向け議論されている。その動向を注視し必要な検討を行う。



带状疱疹 いたいよ～

質問

義務教育学校の教育内容は

答弁

制度の特徴を生かす教育を進める



藤井智江(ふじい ともえ)議員

問

義務教育学校への対応について問う。

①地域説明会を今後どのように進めるのか。
②学年段階を6・3制から4・3・2制に変更する理由は。

③義務教育学校が開校した後支援学級の体制に変化は出てくるのか。
④子どもたちの主権者意識・権利条約について教育の中でどう生かしていくのか。

⑤旭学園に対する説明会で出た質問はどのように検討したのか。

答

黒瀬教育長

①地域のさまざま



着々と進む建設工事

な分野から選出された委員で組織する開校準備委員会で協議を重ねている状況である。

②義務教育学校だからできる特徴を生かした学年段階の区切りを設ける。

③学級編成の標準法に沿って対応するため大きな変化はない。

④選挙・国政・地方自治は必修科目となっている。権利条約の精神は各種法令に反映されている。これに基づいた教育を推進する。

⑤質問には学校を通じて回答している。可能な限り対応していく。

質問

DMOの活用で人口減少克服を

答弁

人と人との共創で町を活性化する



問

美咲DMOの展望はどうなるのか。

①コーディネーターは3人体制になるようだがどこに配置するのか。

②ローカルベンチャーを町外から募集するのはなく、町内の人材を活用できないのか。

③本町の人口減少問題に美咲DMOを活用してどう取り組むのか。

答

宇佐見政策推進監

①コーディネーターは、ミサキアエルプロジェクト事務局に所属して拠点で活動する。
②ローカルベンチャーは地域おこし協力隊が地域を活性化しようと



ローカルベンチャー募集中

いう国の施策を活用して行うもので、地域外の人を想定している。
③ミサキアエルプロジェクトの目的は、棚田の再生、農業の6次産業化、森林保護など本町の中にある課題を解決すること。

その解決に向け尽力している町内の企業や地域のひと、ローカルベンチャーとして参加してもらう地域外のひととの共創で課題解決を促進する。

町の魅力を増やし、結果として交流や人口を増やしていきたい。



三船博之(みふね ひろゆき)議員



質問

災害に備えた建設業者の確保は

答弁

基準を見直し取り組んでいる

答 前田建設課長
甚大な被害が発生した場合、全てに對

答 忠政副町長
大規模災害からの生活復旧には建設業者の協力は不可欠なものと考えている。

問
現在、建設業者も建設従事者も減少している状況にある。大規模災害に備えた町内業者の確保育成はどう考えているのか。



災害は忘れた頃にやってくる

答 前田建設課長
町内業者が参加しやすいように経営事項審査の基準を変更している。その中で事態を見極め対処していく。多くの業者に登録をしていただきたい。

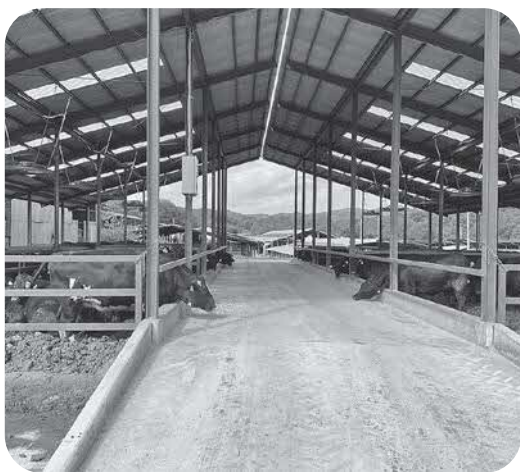
問 安全な作業を行うには建設業者の実態を充分に把握し、能力のある業者に依頼するべきではないか。

答 前田建設課長
町内業者が参加しやすいように経営事項審査の基準を変更している。その中で事態を見極め対処していく。多くの業者に登録をしていただきたい。

答 青野町長
本町の農業の中で畜産業の生産額は74%を占めている。糞尿処理問題が大きな負担になっていることは承知しているが、町としての糞尿対策事業はない。

問 本町には牛、豚、鶏など大規模な畜産業が展開されている。糞尿問題はいずれの業者も頭を抱えている。町として独自の施策はないか。

答 林田産業観光課長
また、北海道では家畜排泄物を利用して、バイオガスエネルギーで環境問題、発電事業に取り組んでいる所もある。研究してみてもどうか。



畜産業の振興を

質問

大規模畜産業に独自施策は

答弁

町の施策はないが研究していく

問 国・県の補助事業の活用や対応策の助言をしている。

答 林田産業観光課長
バイオガスエネルギー利用については、循環型社会の形成のためにも今後研究していく。また、北海道では家畜排泄物を利用して、バイオガスエネルギーで環境問題、発電事業に取り組んでいる所もある。研究してみてもどうか。

質問

町民目線の行政はできているか

答弁

住民ニーズに対応できる行政へ



形井 圓(かたい まどか)議員

問

町民にやさしい行政はできているのか。

①職員は町民に寄り添った仕事をしてほしい。
②高校への通学定期券への補助金はJRにも適用すべきである。

③町内には中央地域と柵原地域に火葬場があるが、利用料金に格差がある。是正できないのか。

④黄福タクシーの制度は見直しが必要なのではないか。

答

青野町長

①町では職員の人材育成基本方針の中で、目指すべき職員像を掲げて、住民ニーズに自

ら考え行動できる職員への人材育成を心がけている。

②この制度は通学の料金を平準化するためのもので、JRはもとものと運賃が安く助成の対象にはなっていない。

③現在の利用料は中央斎場が1万2,500円、柵原斎場が2万円となっている。

これは施設の建築年数や施設の規模・内容の違いから利用料金が異なっている。

④今後、年齢要件や料金体系など制度全般について公共交通在り方検討会議などで検討していく。



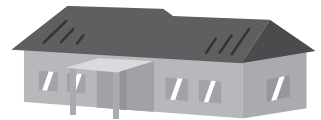
町民にやさしい行政を

質問

西幸・三保公民館の建て替えを

答弁

総合管理計画に基づき検討する



問

西幸公民館は、昭和48年、三保公民館は昭和43年に建築

され、周辺地域の子どものそば、習字、パソコン教室、サロンなど地域の交流・発展の中心的な場として、併せて災害時の避難場所として利用され、住民から感謝されている。しかし両施設とも老朽化が進み、二階建てのため高齢者に不便な状況となっている。

まして両施設とも災害時の避難場所でもありながら西幸公民館は急傾斜地域の危険な場

所に建設されている。特に高齢者から建て

替えの要望が出ているが町の考えは。

答

青野町長

両公民館とも建築から相当の年数が経過している。

また高齢者の利用が増えていることから、施設利用についての利便性の向上を図る必要があると考えている。

両公民館の建て替えについては、町公共施設等総合管理計画に基づき施設の集約や規模縮小も視野に入れて検討している。



老朽化が進む公民館



山本 資(やまもと たすく)議員

質問

義務教育学校の郷土学習の準備は



答弁

地域と共に体制を整える

問 義務教育学校開校に向けて郷土学習による探究的な学習を身に付け、郷土の創造と発展を考え行動する力を育成し、地域の自然に親しみ、人について学び、地域に貢献する人材教育を目指して準備していると思う。郷土には様々な歴史があり、先人の努力で現在の我々が存在していることもしっかりと学習してもらいたい。

①地域としてどのような関わりを持つべきか。

②義務教育学校では、郷土の歴史遺産をどうしていくべきか。子どもたちにも一緒になつて考えてもらおうべきではないか。



歴史遺産を大切に

答 山本教育次長

①「学校を核とした地域づくり」の講演会を開催して、地域と共にある学校づくりと学校を核とした地域づくりを同時に進めていくことが大切である。

地域と学校が一緒に考えていく体制を開校に向けて整えていく。

②郷土学習では、子供たちが地域の特色を学び、地域とのつながりを深められるよう学習を展開し、住んでいる地域に対して参画、貢献できるような仕組み作りをしている。

視察受入

長崎県諫早市議会が視察で来町
～議会だよりの研修会を開催～

8月3日に長崎県諫早市議会から市議会報発行特別委員会の皆さん9人が来町されました。

美咲町議会だよりの編集方法やホームページの作成方法などについて意見交換を行い、お互いの技術的な面を見つめ直す良い研修会となりました。

島根県津和野町議会が視察で来町
～議会基本条例の研修会を開催～

10月14日に島根県津和野町議会から草田議長を始めとした皆さん13人が来町されました。

美咲町議会が制定している議会基本条例について意見交換が行われ、これを基に津和野町議会でも議員活動の活性化を目指した基本条例が制定されるようです。



議会費あれこれ

令和3年度分

◎ どれくらいお金がかかっているの？

A 議会運営にはこのくらいかかっています。

項 目	金 額
議員人件費	5,218万819円
一般職員人件費	1,253万6,447円
経常管理費	346万6,266円
各種負担金（退職議員の年金など）	2,072万2,665円
合 計	8,890万6,197円

◎ 報酬ってどれくらい？

A 月額報酬は次のとおりです。

議 長	31万5,000円
副議長	26万2,000円
常任委員長	24万6,000円
議 員	24万円

◎ 何日くらい活動しているの？

A 年間の活動日数です。

議 長	153日 （町外・県外を含む）
副議長	125日 （町外・県外を含む）
議 員 （議長・副議長を 除く11人）	平均106日 （町外・県外を含む）

◎ 視察研修費ってどれくらい？

A 令和3年度の議員研修はコロナ禍のためオンライン研修や感染防止対策を十分行ったうえでの対面研修を庁舎内で実施しました。

視察研修費	38万2,360円
-------	-----------

◎ 議長交際費は何に使うの？

A 交際費は議長が議会を代表として外部と交際するにあたり、町議会の運営にとって必要な経費のことです。主に見舞金や弔慰金などに使っています。

議長交際費	6万1,966円
-------	----------

《出前議会に行ってきました》

美咲町議会広報特別委員会では、できるだけ多くの町民の皆さんと意見交換を行う事を目的とした「出前議会」に取り組んでいます。

9月には「藤原地区地域福祉ネットワーク」と「錦織地区保護者の会」の皆さんからご依頼をいただいております。

議会の活動報告から町政全般まで熱のこもった意見交換ができました。

皆さまからのご依頼をお待ちしております。



綿織老人憩いの家



藤原平成会館

表紙の紹介 ～美咲中央小学校の運動会～

9月17日に行われた美咲中央小学校の運動会。秋晴れのグラウンドには子どもたちの笑顔があふれていました。



第11回美咲町社会福祉大会 ～共に生きる地域づくり～

10月2日に第11回美咲町社会福祉大会が開催され多数の議員が参加しました。共に地域を創っていく「地域共生社会」の実現を目指します。



令和4年12月定例会の予定

令和4年12月に予定されている美咲町議会定例会は

◆12月12日(月)開会～12月23日(金)閉会

◆一般質問は12月13日(火)～14日(水)の2日間を予定しています。

(なお、日程が変更される場合にはみさきテレビなどでお知らせしていきます)



放課後子ども教室 第4回

美咲町では放課後子ども教室（子どもたちが放課後を安全・安心に過ごし、学習や体験・交流活動などを行う事業）が町内7教室開設されており、その中の6教室は「寺子屋」として委託団体が運営しています。



一緒に
学び
考える

寺子屋やなはらにし
子どもたちの学力は確実にアップしています。

●どんな活動ですか

平成29年6月に開設しました。放課後の時間を利用し児童が自主的に宿題や自らの課題に取り組む活動です。また、地域の大人たちが学習活動のサポートに参加して子どもたちの活動を支えています。

●どこで活動していますか

毎週月・金曜日（祝日・学校休業日等は休室）の15時30分～18時30分までの間、小瀬ふれあい会館で活動しています。

●参加対象はだれですか

柵原西小学校の児童が対象です。

●具体的な活動内容は何ですか

宿題、学習ドリルなど生徒が個々の目標（学習カードに記入）を毎回決めて、教科学習に取り組んでいます。

●活動で大切にしていることは何ですか

子どもと大人が「一緒に考える」、子ども自身が「やりきる」を基本とし、児童が自ら教科学習などに取り組む姿勢を大切にしています。

●どんなところが特徴ですか

低学年の児童参加も多く、スタッフが児童一人ひとりに合わせた丁寧な学習指導を行っています。

●運営は誰が行っていますか

みさきスタイルこども応援事業運営委員会（美咲町教育委員会生涯学習課）から委託を受けたNPO法人ファミリーリングあゆむが運営しています。

問い合わせは飯田純子（090-1181-9610）までお願いします。

編集後記

酷暑の夏も過ぎゆき、暫し安堵感を覚える時節を迎えています。議会も9月定例会を無事終え、コロナ終息を願うてのワクチン接種が進められています。

私達議員は、言うまでもなく住民福祉を第一議としております。

今回私達広報委員会では、町民の皆さまのご意見をお伺いするため、出前議会を募集し、ご要望をいただいた地域に向向しています。現在2回の開催となつていますが、その中で、さまざまご意見をお伺いしており、この様な機会をいただいたことに感謝しています。皆さまの貴重なご意見・ご要望を踏まえて、議員一同今後の議会活動に活かしてまいります。（矢吹記）

議会広報特別委員会

委員長 三船 博之
副委員長 松田 英二

中西 伶王
矢吹 一郎
板垣 正寿
左居 喜次